

「強み発見カード」

「強み発見カード」

って？

こんにちは、竹之内と申します。私は解決志向アプローチのさまざまな展開に関心を持ち続けており、この連載では、学校で使える「強み発見カード」の紹介と、それを実際に使っている先生方の実践例を紹介していきたいと思えます。

ある日、小学校の担任をしている先生と話し合っていたとき、学校の校是・校訓やクラスの目標を具体的に実践するにはどうしたらいいかという話になりました。「そういえば、学校で使うことに特化した、子どもたちの強み（特質、能力、性格、持ち味など、その人に備わっているものなら何でも）をイラスト化したカードがあるといいね」ということで、「ならばつくってみよう！」となりました。

子どもや成人のもつ強みをイラスト化したカードとしては、家族支援の実践から生まれたオーストラリアのイノヴェイティブリソース社のストレンジスカードが有名です。日本では有限会社ストレンジスカード・コムが言葉選びや図案選びに日本らしさを取り入れた同様のカードを作成し、各人の強みを見つれたり、伸ばしたり、それについて話し合うための会話のツールとして使えるものとなっています。

学校の場合、校是・校訓やクラス目標はやや抽象的で、「それが実現できているときには具体的にどんなことが起きているのか」が曖昧なままになっていることがあるように感じます。また、その具体的な様子を上から提示して押しつけるのではなく、子どもたちのアイデアとして決めてもらうほうが、その目標などが子どもたち自身のものとなって、よりそれを実現させる動機も高まるのではないのでしょうか。

そこで、一般的によくある目標を、子どもたちが自分たちの強みと関連づけて具体的に考えるための「強み発見カード」をデザインしてみました。作成したのは、「責任感」「正直」「リーダーシップ」「優しい」「正義感」「前向き」「好奇心」「友達思い」「わけへだてしない」「素直」「深く考える」「協調性」の一二種類です。

例えば今回紹介した「前向き」では、遠足が雨で中止でも、教室で楽しくお弁当を食べられる」という様子を描いたカードにしました。このカードを示して、これを例として先生と子どもたちで、「前向き」という目標が具体的に現実化し

ソリューションランド代表
竹之内 裕一

たけのうち ゆういち 30年ほど前に解決志向アプローチに出会って以来、これにドはまり。その実践家の集まりであるソリューションランドを運営しています。

「強み発見カード」



イラスト：TOFU

ているいろいろな場面を出し合い、さらに広げていくのです。また、カードには「前向き」などの文字を入れていないものも用意してあります（つまり、カードは一二種類二四枚）。文字の入っていないほうのカードを示し、「この絵からどんな強みを感じるか」を話し合うという使い方もあります。結果的に、そのカードに別の項目（目標）名がついてもOKです。とにかく使い方は自由なのです。カードを媒介に、クラス全体としての強みを探し出していきたいものです。

これら二四枚のカードのデータは、ほんの森出版とソーリューションランドのサイトで自由にダウンロードできます。デザイン画は極力シンプルにしています。このまま使っても構いませんし、プリントしたものに色をつけたり書き加えたり、拡大したり縮小したりと、自由にお使いください（再配布は著作権の関係でご遠慮ください）。カード名は、学校で使う「強み発見カード」としていますが、自由にネーミングしていただいてけっこうです。

さらに皆さんが子どもたちと新しいデザインをつくられて、それを自由に共有してもよいということであれば、どうぞ、ほんの森出版（mail@hononori.co.jp）までお送りください。ダウンロード対象に付け加えさせていただきます。また、カードをどのように使ったかの皆さんの実践報告も、ぜひお送りください。

今回は、冒頭で紹介した小学校の先生の実践例をご紹介します。お楽しみに！